

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	景観形成推進事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成18年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	法定+任意
	基本事業	美しい都市景観の形成	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-080401-05 単独	根拠法令・条例等	景観法, 守谷市景観法の施行等に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成16年に国において景観法が定められ、まちづくりにおいては、恵まれた豊かな水辺や緑を保全するとともに、良好な景観を創出していくことが大切であるため、市は平成17年8月24日に「景観行政団体」となった。</p> <p>また、無秩序な市街化を抑制し、都市の健全な発展と計画的なまちづくりを進め、良好な都市景観の形成を図るため、平成19年4月1日に「守谷市景観計画」、「守谷市景観法の施行等に関する条例」を定め</p>	<p>「守谷市景観計画」に基づき、建築物を主体とした良好な景観形成の推進、快適な都市環境の創出を図るため、景観計画に示す基準による助言、指導、条例に基づく届出の受付、「守谷市景観審議会」の運営を行う。</p> <p>市内に存在する多数の屋外広告物の管理を屋外広告物等管理システムにより行い、市内に無秩序に掲出された違反広告物に対して「守谷市屋外広告物条例」及び「守谷市違反広告物是正指導要綱」に基づき計画的に是正指導を行う。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市民共有の財産である良好な都市景観を守り、次世代に引継ぐために「守谷市景観計画」に即した景観まちづくりを、市民の理解のもと進めていく。</p> <p>あわせて、屋外広告物の氾濫が景観形成を阻害している一つの要因であることから、「守谷市屋外広告物条例」に基づき屋外広告物を適正に管理することにより、街並みの良好な環境の保持に努める。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>条例違反広告物に対しては是正指導を行っているが、特に屋外広告物の掲示者（店舗等の責任者）が屋外広告物条例の認知度が低く、違反行為と認識していない場合が多い。</p>	<p>R2.6～10月：是正対象調査（大木、板戸井、野木崎、北守谷板戸井線、谷井田稲戸井・停車場線～郷州戸頭線）</p> <p>R2.6～10月：是正通知発送</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> ・是正対象物件の調査後、通知により是正の周知と指導を行う。 ・広報やホームページ等を利用し条例内容をわかり易く周知する。 ・是正対象の土地所有者にも周知する。 	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
良好な景観の維持のため、屋外広告物是正指導を86件に対し是正指導を行った（百合ヶ丘，ひがし野，松並，同地及び赤法花地区）。その内36件については対応済（申請許可済5件，撤去済10件，申請不要21件）で，50件については，是正に向けて対応中である。	引き続き，屋外広告物是正指導を行い，前年度から是正に向けて対応中の50件の内9件については対応済（申請許可済2件，撤去済7件）となり，令和2年度は大木，板戸井，野木崎，北守谷板戸井線及び谷井田稲戸井・停車場線～郷州戸頭線の是正指導を25件行い，その内8件は対応済（申請許可済2件，撤去済6件，申請不要6件）で，11件については，是正指導中である。 H26年度から市内を7分割した是正指導計画による指導が終了したため，市内を4分割した新たな是正指導計画を作成した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
是正指導に基づく許可件数（件）	2.00	0.00	0.00	12.00	5.00	4.00	2.00
是正指導に基づく違反広告物削減件数（件）	6.00	0.00	0.00	5.00	10.00	13.00	5.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	令和2年度で市内全地区の是正指導が終了した。是正指導の効果により，違反広告物が減少している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	良好な都市景観維持のため，引き続き是正が済んでいない違反広告物について指導を行うとともに，景観に影響を与える建築物等に対し指導等を行う。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	2,785	3,149	2,196	2,913	2,913
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,454	1,289	1,297	1,471	1,471
	一般財源	1,331	1,860	899	1,442	1,442
正職員人工数（時間数）		681.00	1,304.00	1,114.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,843	5,350	4,509	0	0
トータルコスト		5,628	8,499	6,705	2,913	2,913

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト		担当課	企画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成29年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別	任意の事務
	基本事業	美しい都市景観の形成		市民協働	補助事業
予算科目コード	01-020107-20 単独	根拠法令・条例等			

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、自然・緑と共生した環境を維持し、市内外の方が憩う場として拡充・活用を進め、市の魅力の向上、地域活性化に向けた事業を開始した。</p>	<p>市民ボランティア団体（守谷市観光協会）が作り上げてきた地域資源を活用して、将来の地方への永続的な人の流れを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整える。行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（木道）の安全性、快適性を向上させて、つくばエクスプレス等の民間企業と連携した自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信していく。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>地域資源「守谷野鳥のみち（旧守谷野鳥の森散策路と鳥のみち）」を活用して、将来の地方への永続的な人の流れ（交流人口から移住促進へ）を創出する。持続的な経済効果をもたらす環境を整備することで、魅力ある付加価値を創出し、“住まう”場としての魅力を高める。本市と同様に東京圏との近接性を持つ市区町村と差別化してU・I・Jターンを促進し、総合戦略に掲げる基本方針「『住まう』まち（住み続けることができるまち）・守谷」を実現することができる。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>・平成30年12月に木道の全線更新が完了し利用環境が整備されたため、野鳥のみちの周知とともに利用者は増えてつつあるが、更に多くの方に訪れてもらうための取組が必要である。</p>	<p>【～令和2年11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏新都市鉄道(株)の協力によるTX中吊り広告により野鳥のみちのPR。 ・木道維持管理として守谷市観光協会を中心にTX、学生シェアハウス事業の参加者も加えた形で防錆剤塗装を実施した。 <p>【令和2年12月以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県南水道事務所が木道の補償をするにあたり、木道を「公共施設に類する施設」として位置づける裏付けとして地方創生推進事業で採択された経緯や、事業スキームなどの説明を取りまとめる。 ・野鳥のみちへの誘導として案内看板の新規設置及びそれに伴う道路占用許可の手続き等を行う。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>・首都圏新都市鉄道(株)の協力によるTX中吊り広告等の野鳥のみちPRを継続しつつ、整備予定の東口市有地の施設・オープンスペースやグリーンインフラ事業と連携した取組を図っていく。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>継続してのプロモーション費用として車両中吊り広告掲載費用を同額程度見込むため。</p>

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏新都市鉄道(株)の協力によるTX中吊り広告等の野鳥のみちPRを継続しつつ、市やその他市民団体とも連携した取組を図っていく。 ・茨城県企業局による緊急用水道本管市敷設計画が進んでおり、一部が鳥のみちの木道に係るため、物件移転に向けた準備の必要性がある。 ・木道等の定期的な維持管理も継続していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月15日から令和2年5月31日まで中吊り及びポスター広告をTXにて実施した。 ・茨城県企業局による緊急用水道本管市敷設計画については、設置されている木道が県からの補償対象であることを示す必要があった。このため、本市の総合戦略に対する位置づけや地方創生推進交付金を用いて整備する経緯などの情報提供を行った。 ・木道維持管理は、守谷市観光協会を中心に合同作業として、例年参加している市やTXだけでなく、学生シェアハウス事業の参加者も加えた形で防腐剤塗装を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
野鳥のみちの利用者数（人）	0.00	0.00	0.00	20,000.00	48,300.00	81,800.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	周知の効果が現れ、利用者数も増加し、市外や県外からの視察隊の受け入れも増えている。野鳥のみちに隣接する守谷城址公園の整備にも守谷野鳥のみち自然園のメンバー(市民ボランティアにて構成)が着手し、整備エリアを広げている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	地方創生推進交付金は既に令和元年度で終了となっているが、引き続き、市民・企業・行政の協働により「守谷野鳥のみち」の周知を行い、より一層市内外から多くの利用者に訪れてもらえるような地域経済の活性化に資する事業を実施する。 グリーンインフラや学生シェアハウス事業など企画課が担当となっている事業との連携もあるが、既に計画から立ち上げといった段階は過ぎており、市として継続して取り組んでいける体制の整備が必要である。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	529	1,095	39	270	270
	国・県支出金	264	767	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	265	768	0	0	0
	一般財源	0	-440	39	270	270
正職員人工数（時間数）		313.00	112.00	82.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,307	460	332	0	0
トータルコスト		1,836	1,555	371	270	270